

秋田県男鹿市
JR男鹿線「男鹿駅」より車で5分

資料提供：秋田県船川港湾事務所

職人技と技術の協働

船川港は平成23(2011)年が築港100周年に当たるが、その船川港第一船入場防波堤と第二船入場防波堤は平成23(2011)年度の公益社団法人土木学会選奨土木遺産に認定された。

船川港の第一船入場防波堤は大正3(1914)年に完成した間知石(けんちいし)積みで全長163.6m(81.8m×2本)の防波堤で、現在は地中に埋まっているが、一部が掘り起こされて見学できる状態になっている。

第二船入場防波堤は昭和5(1930)年に完成した間知石積みで全長363.6mの防波堤で、現在もその両端部分数十mは海上に残存している。

このような間知石積み工法の防波堤の建造には、男鹿石の石工職人やヘルメット潜水士など、現在も男鹿で活躍する地域産業の職人や技術者の先達が関わっている。

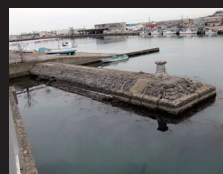
秋田県船川港湾事務所からは、築港当時のそうした状況をうかがい知ることのできる設計図面や写真など約2000点が見つかり、ここにその一部を紹介しているが、当時の技術や考証的事実をうかがい知ることのできる貴重な資料群である。



埋立護岸用
間知石積み出しヤード



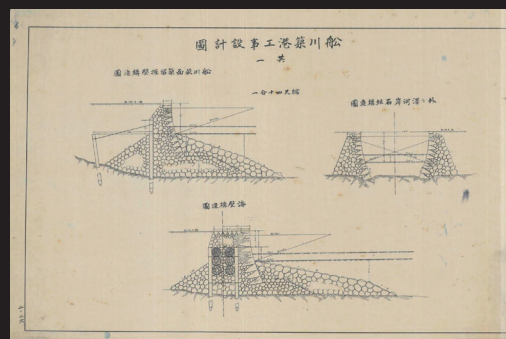
ヘルメット潜水士



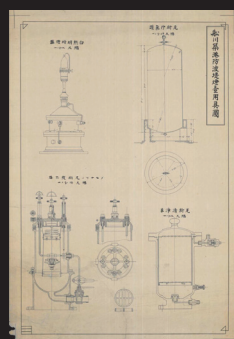
船川港第二船入場防波堤
(北西側)



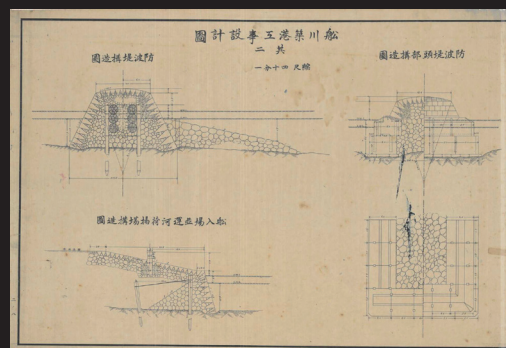
船川港第二船入場防波堤
(南東側)



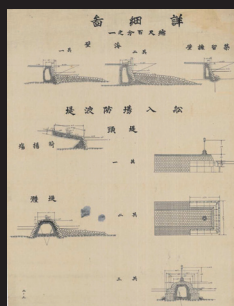
船川築港工事設計図その一



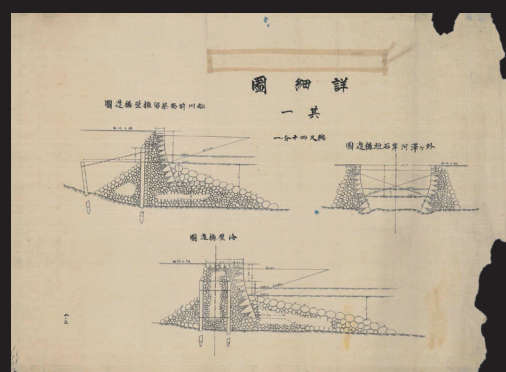
船川築港防波堤灯台用具図



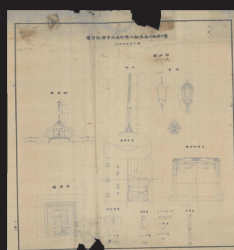
船川築港工事設計図その二



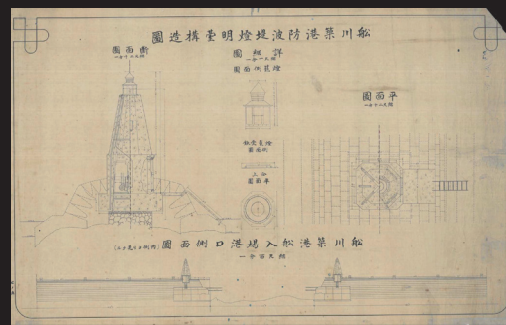
詳細図(舟入場防波堤)



詳細図(船川前面築留擁壁構造図等)



第一部船川築港舟入場
防波堤竿灯設計図



船川築港防波堤灯台構造図

百年の歴史の語り部

船川港は男鹿半島南東部に位置し、周囲が岩礁に囲まれて波浪が少なく、また、北西に位置する真山などの山地が季節風を防いでくれるなど、その独特の恵まれた地形のため、明治44(1911)年の築港以前も、古くから日本海航行の船舶が避難する「風待ち港」として利用されていた。近代には、明治11(1878)年、工学大学校(現在の東京大学工学部)教師ペリーの指導のもとに、当時の工学大学校生千種基、仙石貢、石橋絢彦らにより測量調査が実施され、明治13(1880)年、県令石田英吉が内務卿伊藤博文に改修の申請を行った。同年、内務省はお雇い技師セイ・イ・ファンドールを船川に派遣して実地調査を行い、船川築港改修見込書および図面を県に交付した。

明治28(1895)年、県会議員大日向作太郎から船川港湾埋立の請願を提出された県知事平山靖彦は、内務省にこれを進達し、認可される。明治30(1897)年、大日向作太郎が主唱者となり船川港湾築港期成同盟会が設立される。明治33(1900)年、大日向作太郎が通常県会に上程した船川港湾修築諮問案が可決し、本省へ申請されるが、決定されないまま明治37(1904)年、日露戦争の開戦となる。

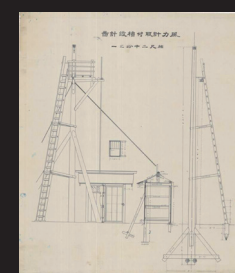
日露戦争後、明治40(1907)年から本格的に測量調査が実施され、明治41(1908)年、秋田県技師牧彦七が東京帝国大学工科大学教授廣井勇の意見を聴いて船川港湾調査報告をまとめる。明治43(1910)年、港湾調査会において、船川鉄道敷設を条件として、土崎港(現在の秋田港)と併せて一港とすることで、第2種重要港湾に指定される。

明治44(1911)年から本格的な築港が開始され、鉄道の開通が急がれることとなる。大正2(1913)年、第一船入場が築造され、大正5(1916)年、船川軽便線(現在の男鹿線)が開通したことで、海陸運送が盛んになり、集積地としての需要が増す。昭和2(1927)年、内務省により第2種重要港湾に編入され、昭和5(1930)年、5000t岸壁が完成することで外国貿易港としての第一歩を踏み出し、今日の輪郭が形成される。

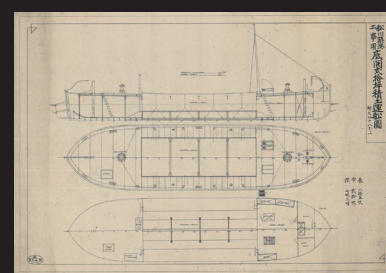
第一船入場の築造に伴って大正3(1914)年に造られた第一船入場防波堤と5000t岸壁とともに施工されて昭和5(1930)年に完成した第二船入場防波堤は、その後の港湾整備により大部分は埋め立てられた状態ではあるが、その一部は現在も残存し、間知石積み工法による大正から昭和初期の技術の面影を留める貴重な土木遺産である。(後藤文彦)



船川港平面図



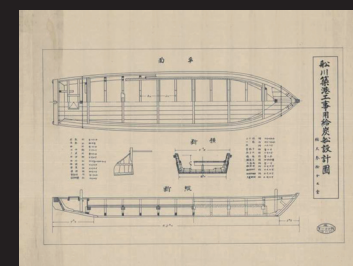
風力計取付櫓設計図



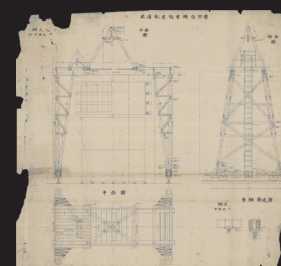
船川築港工用底開式拾坪積土運船図



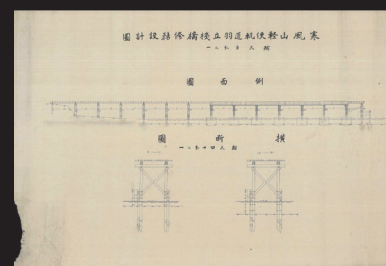
牧彦七



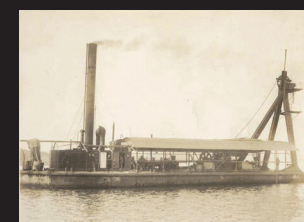
船川築港工用給炭船設計図



木造軌道起重機設計図



寒風山軽便軌道羽立棧橋修繕設計図



コンクリート塊運搬用双胴船



路面転圧用マカダムローラー
(英国製)



木造軌道起重機



木造軌道起重機